

平成 21 年度 精神系 試験問題 (2009. 5. 25)

学籍番号 _____ 名前 _____

A. 次の文章のうち、正しいものは右の（正）の欄に、誤っているものは（誤）の欄に
チェック印を入れよ。（配点各 2 点）

1. フランスの Pinel, P.は、ビセートル病院とサルペトリエール病院において精神病者を鎖から解放したことでよく知られている。
2. 緊張病性昏迷は躁病患者でみられる。
3. 抑うつ気分はうつ病で認められる。
4. 昏迷と意識障害を鑑別する最も良い検査は脳波検査である
5. 甲状腺機能低下症では全般的な精神機能の低下が認められ、うつ病との鑑別が重要となる。
6. MEG は磁気共鳴装置による脳活動の評価法として開発された。
7. 症例「ゲイジ」は運動性失語の初めての報告として知られている。
8. アルツハイマー病の病理所見のうち、老人班はベータアミロイド蛋白（Aβ）が蓄積したものであり、神経原線維変化は異常にリン酸化したタウ蛋白が蓄積したものであり、正常老化でも認められることがある。
9. ピック病などの前頭側頭型認知症では、性格の変化と社会的行動の障害が主要な特徴であり、早期には記憶障害が目立たない。
10. てんかんとは大脳ニューロンの過剰な発射から由来する反復性の発作を主徴とする慢性の脳疾患である。
11. てんかんの手術療法は全般発作に有効な治療法である。
12. 統合失調症の症状は、急性期には幻覚や妄想などの陽性症状が主体であり、慢性期には発動性欠乏、感情鈍麻などの陰性症状が主体である。
13. 統合失調症における幻覚・妄想を抗精神病薬が軽減する薬理学的機序に、ドーパミンの関与が示唆されている
14. 統合失調症患者の家族の感情表出（批判、敵意、巻き込まれ）が低い場合、患者の再発率が高くなることが報告されている。
15. 精神病への早期介入により、精神病体験による悪影響を最小限にし、社会・職業的機能を最大限に保つことが重要である。
16. 双極性感情障害(bipolar disorder)患者のうつ症状には、炭酸リチウムなどの感情安定剤が第一選択薬となる
17. 解離性障害で生じるけいれん発作は睡眠中におこることが多い。
18. 外傷後ストレス障害（PTSD）の主症状には、再体験、回避／精神麻痺、過覚醒がある。
19. 強迫性人格障害は洗浄強迫や不潔恐怖などの症状に家族が巻き込まれやすい。
20. アスペルガー症候群とは、知的障害を伴わない広汎性発達障害である。
21. トウレット症候群は、運動性チックと音性チックが認められる。
22. 長期間のアルコール摂取からの離脱時に認める振戦せん妄は、断酒 3 日後くらいから生じる
23. 末期がん患者の抑うつ反応は健常反応であり、治療対象とはならない。
24. 指定医 2 名の診察により、強制入院である措置入院の適応が判断される。
25. 日本の精神病院における病床数は、近年減少傾向にある

	正	誤
問題1	___	___
2	___	___
3	___	___
4	___	___
5	___	___
6	___	___
7	___	___
8	___	___
9	___	___
10	___	___
11	___	___
12	___	___
13	___	___
14	___	___
15	___	___
16	___	___
17	___	___
18	___	___
19	___	___
20	___	___
21	___	___
22	___	___
23	___	___
24	___	___
25	___	___

B. こころの発達と医療の役割について、関連する児童・思春期の精神科疾患の概説を交え論ぜよ。（配点 50 点）

（本試験用紙の裏面に、学籍番号・氏名とともに記述すること）